

令和4年(2022年) 8月23日(火) 13947号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円



亜鉛建値 1万8,000円引き下げ

54万4,000円

8月の月内建値平均 53万4,300円

三井金属鉱業は22日、電気亜鉛建値を1万8,000円引き下げの54万4,000円にすると発表、同日より実施した。8月の月内建値平均は53万4,300円。

20日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,532.00ドル。22日の東京市場の米ドルTTSレートは138.17円。この値で換算した採算価格は、48万8,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万6,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

3月…	478(1)	517(4)	550(9)	502(14)	508(18)	586(28)	平均524.0
4月…	571(1)	592(6)	598(11)	628(14)	652(20)	625(25)	平均612.6
5月…	571(9)	532(12)	517(17)	529(20)	532(26)		平均535.5
6月…	562(1)	565(7)	562(10)	532(15)	526(20)		平均543.6
7月…	484(1)	466(6)	484(11)	469(14)	472(20)		平均474.3
8月…	508(1)	511(4)	532(9)	562(17)	544(22)		平均534.3

産業電子機器6月受注

無線通信機器 前年比率さらにダウン

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(時田隆仁会長)はこのほど、6月の産業用電子機器受注統計をまとめ発表した。金額の大きい無線通信機器は、受注計で前年同月比34.1%減の519億96百万円となり、同比率は、4月に比べ反転ダウンした5月の21.4%をさらに下回った。

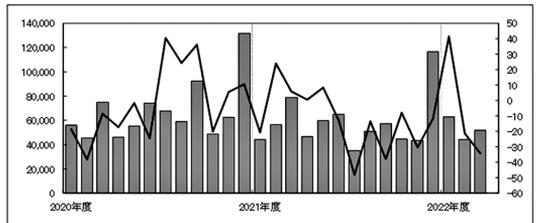
無線通信機器のうち、放送装置は51億61百万円の同15.0%増、固定通信装置は138億24百万円の69.2%増、基地局通信装置は55億70百万円64.6%減、移動局通信装置198億85百万円34.9%減、無線応用装置は75億56百万円



無線通信機器

金額(単位:百万円)

前年同月増減率(単位:%)



62.2%減となった。

移動局通信装置では携帯電話の内需が同46.1%減少し、無線応用装置ではレーダの内需が同84.3%減少、両装置のポイントを押し下げた。

また、業務用映像装置は1.4%増の150億61百万円、超音波応用装置は25.3%増の86億円、電気測定器は2.5%減の49億95百万円だった。

2022年6月 産業用電子機器 受注統計

	需要計				内需								外需			
	2022年6月	%	累計(4月~6月)	%	2022年6月	%	累計(4月~6月)	%	2022年6月	%	累計(4月~6月)	%	2022年6月	%	累計(4月~6月)	%
無線通信機器	51,996	65.9	159,181	88.5	39,157	58.1	123,053	86.8	12,839	111.6	36,128	95.1				
放送装置	5,161	115.0	14,583	79.9	3,657	106.3	10,918	74.0	1,504	143.5	3,665	104.6				
無線通信装置	39,279	72.2	115,239	89.1	32,645	71.5	89,965	88.6	6,634	75.5	25,274	91.0				
固定通信装置	13,824	169.2	44,753	194.8	12,184	178.9	40,269	209.1	1,641	121.0	4,483	120.6				
移動通信装置	25,455	55.0	70,486	66.3	20,461	52.7	49,696	60.4	4,994	67.2	20,791	86.4				
基地局通信装置	5,570	35.4	28,509	59.2	4,743	54.7	13,933	54.7	827	11.7	14,575	64.4				
移動局通信装置	19,885	65.1	41,978	72.1	15,719	52.1	35,763	62.9	4,166	1126.4	6,215	441.6				
無線応用装置	7,556	37.8	29,359	91.3	2,855	15.6	22,170	87.1	4,701	280.8	7,189	106.9				
業務用映像装置	15,061	101.4	39,823	96.1	4,351	78.3	9,785	65.0	10,710	115.2	30,039	113.9				
超音波応用装置	8,600	125.3	20,444	114.1	2,601	106.4	8,572	136.1	5,999	135.8	11,872	102.2				
電気測定器	4,995	97.5	14,130	98.8	1,390	85.6	3,171	90.8	3,604	103.0	10,959	101.5				

7月出荷量推定

前年比再びダウンの見込み

6月から反転

電線工業会

一般社団法人日本電線工業会(井上治会長)はこのほど、国内銅電線の7月推定出荷量と6月実績を発表した。推定によると、7月は合計52,300トン、前年同月比マイナス4.7%。同比は、6月実績が7か月ぶりにプラスとなったが、再びダウンの見込み。全7分野のうち「その他内需」と輸出を除く5分野は同比マイナスとなっている。

7月推定で、同比プラスの「その他内需」は、3,600トン3.5%プラス、輸出が1,300トン0.6%プラス。マイナスは、建設・電販が23,800トン同マイナス2.8%、家電など電気機械が11,800トン同8.8%、自動車は7,800トン同3.1%、電力3,400トン同12.7%、通信600トン同20.6%。内需合計は51,000トン同4.9%とみられている。

また、6月実績は合計55,324トンの同4.4%プラス。全7分野のうちプラスは建設・電販と輸出だけだったが、中心の建設・電販が24,533トン4.9%プラスで

ん引した。内需合計は51,313トンマイナス1.2%だった。6月実績の品種別一覧と出荷推移は表の通り。

主要部門別出荷表(2022年6月実績・7月分推定)

Table with columns for Department (部門), Quantity (数量), and Volume (数量). Rows include Transportation (通運), Power (電力), Electric Machinery (電気機械), Automobiles (自動車), Construction & Sales (建設・電販), Other Domestic Demand (その他内需), Total (内需計), and Output (輸出).

「主要部門別」出荷推移(～2022年6月実績、7月分推定) <数量>

Table showing output trends for various departments from 2017 to 2021, including Transportation, Power, Electric Machinery, Automobiles, Construction & Sales, and Output.

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265



スウェーデン・フィンランド:木質カーボンアノード材バッテリーの開発で連携

7月22日付のプレスリリースによると、スウェーデン・Northvolt社は、再生可能木材が原料のリグニン系ハードカーボン負極材バッテリーを開発するため、フィンランド・Stora Enso社と協定を締結。サステナブルな原材料の新たなソースを探索、欧州バッテリー・バリューチェーンの拡充を図るとともに、より安価なバッテリーケミストリーの実現につなげる。

LME公式値週間推移 8月15日～8月19日(現地)

LME銅AG

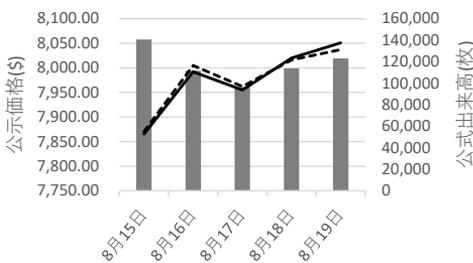


Table with columns for dates (8月15日 to 8月19日) and rows for '出来高' (Output), '直物' (Spot), and '先物' (Futures).

出来高 直物 先物

LME錫HG

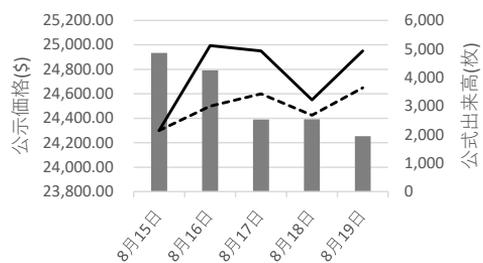


Table with columns for dates (8月15日 to 8月19日) and rows for '出来高' (Output), '直物' (Spot), and '先物' (Futures).

出来高 直物 先物

※ 8月19日の出来高は速報値です。



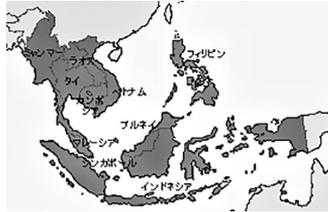
ジェットロ、経産省ほか (059)

ASEAN経済共創のビジョン策定へ

～東南アジア諸国連合・友好協力50年～

2023年はASEAN－日本の友好協力50周年。

節目の年を前にジェットロや経済産業省など経済界はこのほど、「日ASEAN経済共創ビジョン」の策定をスタート。日



ASEANのビジネス・リーダー、スタートアップ、産業人材育成機関、アカデミアなど幅広い意見を集約、次の半世紀を見据えた新時代の経済関係を共に創る視点から、その方向性や取り組みなどを固めていく。

ビジョン策定では、ポストコロナの成長を見据えた、社会課題解決につながるイノベーションを日ASEANが共創し、持続可能な経済社会をリードしていくことが重要。そのキックオフとなる第1回日ASEAN経済共創ビジョン策定のための検討委員会が7月に開催され、新たな日ASEAN経済関係の将来像について協議した。

委員は、白石隆・熊本県立大学理事長(座長)/相澤伸広・九州大学比較社会文化研究院准教授/澤田康幸・東京大学大学院 経済学研究科教授/清水新一郎・日本商工会議所ASEAN日本経済協議会日本委員会委員/竹原玲児・日本経済団体連合会国際協力本部長/平子裕志・経済同友会アジアPT委員長(主査)渡辺哲也・経産省特別顧問、経済産業研究所副所長。事務は、日本貿易振興機構海外調査部アジア大洋州課と経産省通商政策局アジア大洋州課が担当する。

委員会では、論点として、米中対立二極化や途上国・新興国と西側先進国の溝の拡大▷デジタル技術の発展・普及▷人権など共通価値への対応、サステナビリティの重要性の拡大▷成長著しいASEANと多くの課題に直面する日本一などが列挙された。このうちASEANと日本の関係の変化では、日本が地域の産業発展を引っ張った雁行型発展の終焉▷Asiaマイナス日本の時代の到来の恐れ▷デジタル技術活用による、日本を通り越すリブフログ的成長▷ビジネス進出先としてASEANを選ぶ日本という立場から、選ばれる日本をみざす必要一などが挙げられた。

そのうえで「経済共創へ向けて共有したい理念」では、「多様性の尊重と包摂性の確保/次世代へつなぐ」として、「ASEANは多様な文化のバックグラウンドを持つ国の集まり。それぞれのバックグラウンドを尊重し、それぞれの良さを活かす仕組み作りをする」▷「除外しない、尊重しあうための、基盤作り、ルールの整備を進める」▷「キーワードは、地方と都市、子どもから高齢者まで、全てのジェンダー、中小企業と大企業」一などを提示。また「人の行き来、ビジネス、全てにおいて双方向にモノを考えていく」▷「ミドルの夢の実現/格差を減らす。米国、

中国、欧州、アジアを含め世界中で国内分断、所得格差が拡大する中で、各国とも中間層をどう盛り上げるかが大きな政治課題」▷「実状を踏まえたサステナビリティの確保」などが示された。

さらに「経済共創に向けた主要な取組の柱」は次の通り挙げられ、これらをもとに協議を行った。

- 人材・ネットワーク構築への未来投資/イノベーションの共創の基盤づくり
 - ・次世代を担う若手・起業家等の人材ネットワークの構築
 - ・共に学び、育て合う仕組み(相互のインターン、現地研修等)の推進
 - ・オープンイノベーションの推進/共同研究等の科学技術の発展等
 - コネクティビティの強化/グローバルサプライチェーンの高度化
 - ・都市、地方(離島含む)それぞれ活かすためのインフラ・コネクティビティ強化
 - ・グローバルなサプライチェーン・ハブとしての産業集積の高度化
 - ・データの共有・連携等の促進、サステナビリティの実装等
 - サステナビリティの実現
 - ・カーボンニュートラル/エネルギー安全保障確保に向けたエネルギー移行
 - ・食料安全保障の確保に向けた産業の振興
 - ・防災対策(レジリエンス強化に向けた取組)の共有
 - ・健康経営の普及等
- 今後は、ビジョンの中間とりまとめを行い、ASEAN経済団体等インサイト反映案の審議などを経て、50周年に向け策定を終える予定という。



東南アジア諸国連合(外務省HPより抜粋)

1967年のバンコク宣言で設立された東南アジア10か国による地域共同体。原加盟国はインドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、シンガポール。

1984年のブルネイの加盟後、加盟国が順次増加。現在は10か国で構成。2015年に共同体となったASEANは、近年、世界の開かれた成長センターとなる潜在力が注目されている。

総面積は日本の約12倍。総人口は日本の約5倍。

ASEAN共同体は1990年代に生じたアジアの政治経済構造の変化の中で、1992年にASEANはASEAN自由貿易協定を締結、域内経済協力の強化に取り組み、2003年には第2 ASEAN協和宣言を发出した。

2007年には民主主義、人権、法の支配、紛争の平和的解決、内政不干涉等のASEAN諸原則を再確認、共同体構築に向け、機構の強化、意思決定過程の明確化を目的とするASEAN憲章を採択。

その後、2015年11月の首脳会議で「政治・安全保障共同体」「経済共同体」「社会・文化共同体」から成るASEAN共同体の構築を宣言。ASEAN共同体ビジョン2025と3共同体それぞれのブループリントを採択。

故銅市況

前週末20日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,020.00ドルより31.00ドル高の8,051.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,045.25ドルより55.60ドル高の8,100.85ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,016.00ドルより21.00ドル高の8,037.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,031.50ドルより47.00ドル高の8,078.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の9月限は、前営業日の363.15セントより3.30セント高の366.45セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の9月限は、前営業日の6万1,540元より710元高の6万2,250元。

週明け22日の東京為替市場TTSレートは前週末の137.31円より0.86円の円安ドル高、1ドル=138.17円。20日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,051.00ドル。この値と22日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の113万9,000円より1万1,000円高の115万円。電気銅建値は114万円に据え置き。

為替動向

19日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0080ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0040ドル～1.0050ドルで推移した。欧州ではエネルギー価格の高騰が圏内景気を冷やすとの見方が根強くユーロ売りドル買いが優勢となっていた。英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0190ドルのポンド安ドル高、1ポ

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (8月前半)

2S=215円～235円、63S=199円～250円、アルミホイール(1P)=111円～225円、ビス付サッシ=77円～86円、エンジンコロ=100円～108円、込合金(機械铸件)=83円～91円、缶プレス(ソフト)=56円～66円。

関西地区 (8月前半)

2S=197円～200円、63S=200円～235円、印刷版=190円～193円、アルミホイール(1P)=176円～186円、ベースメタル=144円～148円、機械铸件=86円～89円、ドライ粉=65円～68円、ビス付サッシ=83円～98円、缶プレス=73円～78円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(8月19日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が878～883、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは843～848、並銅は808～818、込銅（高品位＝約97%）は798、セパは689～694。コーベルは要り用筋で630、それ以外は615ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋640、それ以外610～620どころの値頃。並青銅铸件削粉は707～712どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が858～878、上銅新くずが823～843、普通上銅が798～818、2号銅線が790～810、並銅が788～808、込銅(94-97%)が736、込銅(90-93%)が738、下銅が407～457、セパが654～689、コーベルが570～615、黄銅棒地が565～610、黄銅削粉が560～605、黄銅ラジが525～533、交叉ラジが459～516、黄銅铸件が463～470、送りが267～286、上青銅铸件が704～724、並青銅铸件が684～699、上青銅铸件削粉が699～719、並青銅铸件削粉が674～694どころ。

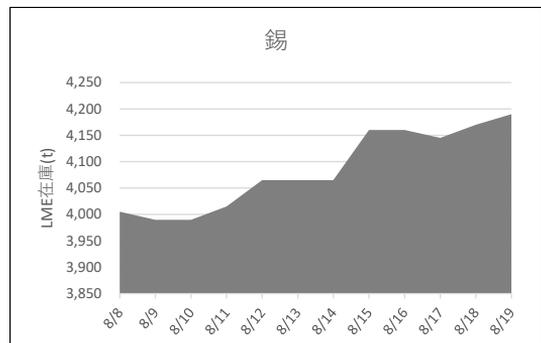
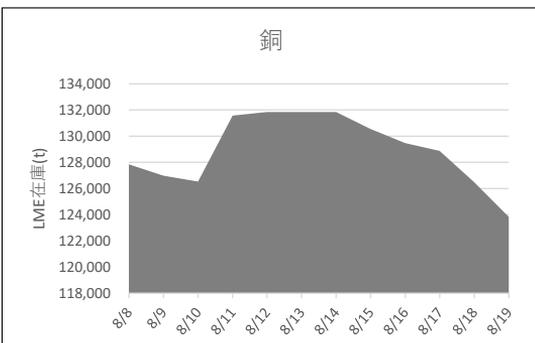
ンド=1.1800ドル～1.1810ドルで推移した。この日発表された8月の英国消費者信頼感指数が前月のマイナス41.0から低下、マイナス44.0で市場予想のマイナス42.0も下回り1974年以来の低水準となった。インフレによる消費の冷え込みが警戒されポンド売りドル買いが優勢となった。

19日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日の続落となった。前日と比べ1.10円の円安ドル高、1ドル=136.95円～137.05円で取引を終えた。

リッチモンド連銀のパーキン総裁が19日の講演で「インフレ率を目標の2%に戻すため、あらゆる手段を取る」と述べたことが市場に伝わり利上げの減速観測が後退、ドル買いを促した。この日の債券市場では長期金利が一時2.99%と前日終値の2.88%から上昇、ひと月ぶりの高水準を付けた。円も一時、137.22円とほぼ3週ぶりの円安水準を付け、円売りドル買いが優勢に推移した。

22日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.33円の円安ドル高、1ドル=136.99円～137.00円だった。25-27日のジャクソンホール会議でFRBのパウエル議長が積極的な金融引き締め継続姿勢を明確にするとの観測から円売りドル買いが優勢となっていた。円は対ユーロでは上昇。同じく0.46円の円高ユーロ安、1ユーロ=137.43円～137.45円だった。

LME認定倉庫在庫推移 8月8日～8月19日(現地)





LME銅相場は続伸 直物終値は8,100.85ドル
COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場は反発
LME非鉄相場はまちまち アルミは週間で約4%安



20日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、8月19日入電の8,020.00ドルより31.00ドル高の8,051.00ドル。2営業日の続伸で1.21%高。この週0.17%の下落。8月に入って3.21%の上伸。3か月物の前場売値は、8月19日入電の8,016.00ドルより21.00ドル高の8,037.00ドル。2営業日の続伸で0.94%高。この週0.43%の下落。8月に入って3.14%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫は、現地8月18日の12万6,475トンより2,650トン減の12万3,825トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、8月限が、8月19日入電の364.65セントより3.70セント高の368.35セント。2営業日の続伸で2.38%高。この週0.20%の上伸。8月に入って2.78%の上伸。中心限月に当たる9月限は、8月19日入電の363.15セントより3.30セント高の366.45セント。2営業日の続伸で2.26%高。この週0.11%の下落。8月に入って2.55%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、中心限月に当たる9月限が、8月19日入電の6万1,540元より710元高の6万2,250元。反発して1.15%高。この週0.75%の下落。8月に入って4.32%の上伸。10月限は、8月19日入電の6万1,150元より640元高の6万1,790元。反発して1.05%高。この週0.99%の下落。8月に入って4.02%の上伸。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、8月19日入電の2万4,550.00ドルより400.00ドル高の2万4,950.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.63%高。この週0.24%の下落。8月に入って2.23%の上伸。3か月物の前場売値は、8月19日入電の2万4,425.00ドルより225.00ドル高の2万4,650.00ドル。反発して0.92%高。この週0.64%の下落。8月に入って1.44%の上伸。LME公認倉庫の錫在庫は現地8月18日の4,170トンより20トン増の4,190トン。

鉛は続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、8月19日入電の2,126.00ドルより56.00ドル安の2,070.00ドル。3営業日の続落で4.83%安。この週4.87%の下落。8月に入って2.32%の上伸。3か月物の前場売値は、8月19日入電の2,137.00ドルより68.00ドル安の2,069.00ドル。3営業日の続落で4.39%安。この週4.61%の下落。8月に入って2.22%の上伸。LME公認倉庫の鉛在庫は現地8月18日の3万8,900トンより450トン減の3万8,450トン。

亜鉛も続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、8月19日入電の3,574.00ドルより42.00ドル安の3,532.00ドル。3営業日の続落で2.46%安。この週3.81%の下落。8月に入って5.40%の上伸。3か月物の前場売値は、8月19日入電の3,507.00ドルより22.00ドル安の3,485.00ドル。3営業日の続落で1.33%安。この週2.65%の下落。8月に入って6.84%の上伸。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地8月18日の7万4,950トンより225トン減の7万4,725トン。

アルミは下落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、8月19日入電の2,412.00ドルより36.00ドル安の2,376.00ドル。3営業日の続落で0.56%安。この週3.75%の下落。8月に入って3.10%の下落。3か月物の前場売値は、8月19日入電の2,414.00ドルより40.50ドル安の2,373.50ドル。反落して1.68%安。この週3.75%の下落。8月に入って2.65%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地8月18日の27万4,525トンより万750トン減の27万3,775トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、8月19日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、8月19日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、8月19日入電より横ばいの2,365.00ドル。この週1.25%の下落。8月に入って1.29%の下落。3か月物の前場売値は、8月19日入電より横ばいの2,365.00ドル。この週1.25%の下落。8月に入って1.25%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、8月19日入電の2万1,850.00ドルより275.00ドル安の2万1,575.00ドル。3営業日の続落で1.26%安。この週7.10%の下落。8月に入って2.15%の下落。3か月物の前場売値は、8月19日入電の2万1,860.00ドルより200.00ドル安の2万1,660.00ドル。3営業日の続落で1.10%安。この週7.83%の下落。8月に入って1.66%の下落。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地8月18日の5万6,010トンより96トン減の5万5,914トン。

nikkankinzoku.co.jp
PW KINZOKU2208

LME公示価格(US\$)／8月19日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,051.00	24,950.00	2,070.00	3,532.00	2,376.00	1,760.00	2,365.00	21,575.00
	前営業日比	31.00	400.00	▲ 56.00	▲ 42.00	▲ 36.00	0.00	0.00	▲ 275.00
	週間増減比	▲ 0.17%	▲ 0.24%	▲ 4.87%	▲ 3.81%	▲ 3.75%	0.00%	▲ 1.25%	▲ 7.10%
先物	公示価格	8,037.00	24,650.00	2,069.00	3,485.00	2,373.50	1,760.00	2,365.00	21,660.00
	前営業日比	21.00	225.00	▲ 68.00	▲ 22.00	▲ 40.50	0.00	0.00	▲ 200.00
	週間増減比	▲ 0.43%	▲ 0.64%	▲ 4.61%	▲ 2.65%	▲ 3.75%	0.00%	▲ 1.25%	▲ 7.83%

海外非鉄金属相場

(8月20日 入電・現地 8月19日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 8月限, 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 1935.0 (▲65.0), 1915.5 (▲51.0).

■NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

■ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1750.75 (▲14.80), 13000 - 13500, 3.60 - 3.85, 1.52 - 1.65, 250 - 275, 7.00 - 8.25, 9.00 - 11.00, 37.00 - 38.00, 23.50 - 25.00, 3500 - 3800, 320.0 - 350.0, 110 - 118.

■KLT M銅(MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: (19日), (22日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: 3.7600, 4.4775.

■LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 123,825 (▲2,650), 4,190 (20), 38,450 (▲450), 74,725 (▲225), 273,775 (▲750), 2,120 (-), 5,000 (▲40), 55,914 (▲96).

■上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 31,205 (▲10,606), 197,886 (19,150), 96,206 (9,026), 71,352 (388), 3,818 (▲117).

■LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (8/22), (3:00AM現地). Values: 銅 8,070.5 - 8,073.5, アルミ 24,575.0 - 24,900.0, 鉛 2,048.0 - 2,051.5, 亜鉛 3,485.0 - 3,489.5, アルミ 2,392.0 - 2,395.0, ニッケル - (-).

■上海相場

Table with columns: トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 9月限 62250 18470 24850 14985 170800, 10月限 61790 18295 24495 14970 166880, 前日比 710 (▲95) (▲40) (▲40) (▲1650), 出来高 110989 214788 177031 40044 81537.

※22日のKLT Mは取引がありません。

非鉄金属製品相場

(8月22日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1450	1405	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1500	1455	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1580	1605	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1600	1605	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1510	1515	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1360	1375	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1415	1420	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 31.1~33.1
銅線0.9ミリ	1440	1435	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 85.1~90.5
銅帯6×50	1370	1375	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 212~225
銅平角線	1640	1605	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1250	1230	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1617~1719
〃 0.3ミリ	1280	1260	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2490~2647
黄銅大板2×1×2	1400	1410	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4180~4443
黄銅管	1700	1710	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2610~2769
復水器用黄銅管	1670	1680	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3639~3861
黄銅棒快削25ミリ	1010	1020	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1040	1050	貴金属(一般小口向け)			3C×2 127~130
四角棒	1070	1080	白金(グラム)		◆ 4431	4C×2 171~175
鍛造用	1050	1060	パラジウム(グラム)		◆ 10505	6C×2 242~248
ネーバル	1150	1160	金(グラム)		◎ 8526	7C×2 276~283
高力	1150	1160	銀(キログラム)		◆ 95810	合金鉄 6月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1425	1410	レアメタル輸入価格	6月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 276
黄銅平角線ロール仕上	1625	1620	金属ケイ素(99.99%未満)	502		〃 その他 373.3
黄銅条1.5×100	1245	1245	モリブデン酸化物	4055		フェロシリコン55%以上 313
リン青銅板一般用1.0ミリ	2470	2660	タンタル	59923		フェロクロム4%以上炭素含有 282.2
〃 バネ用0.3ミリ	2720	2920	マグネシウム	627		フェロモリブデン純分60%以上 4030
リン青銅棒25ミリ	2630	2840	コバルト	10887		フェロバナジウム 4593
リン青銅線3ミリ	2930	3140	インジウム	28162		フェロニッケル33%未満 851.5
洋白板一般用1.0ミリ	3480	3630				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3650	3810				

減 摩 合 金	8月16日改定	銅 合 金 地 金	8月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4590	BC 1種	1210
2種	4465	2種	1530
3種	4335	3種	1615
4種	3810	6種	1295
5種	3635	7種	1425
7種	1330	YBSC 3種	1085
8種	1170	LBC 3種	1560
9種	1000	PBC 2種	1635



<https://home.nikankanzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(8月22日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1025	1027	電 気 銅	◎ 1123	◎ 1118	◎ 1125	◎ 1120	山元建値 電気銅	1140(19) 金 7,736(22)
2 号 銅 線	983	—	電 気 亜 鉛	◆ 515	◆ 509	◆ 515	◆ 509	() 実施日 電気鉛	345(8) 銀 85,450(22)
上 銅 (新 切)	996	992	蒸 留 亜 鉛	◆ 503	◆ 497	◆ 503	◆ 497	電気亜鉛	544(22) 錫(99.99%) 4,800(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	856	854	再生ダイカスト亜鉛2種	◆ 437	◆ 431	◆ 437	◆ 431		
並 銅	938	921	再 生 亜 鉛 (98%)	◆ 380	◆ 374	◆ 380	◆ 374		
下 銅	919	894	電 気 鉛	317	314	317	314		
銅 削 粉	913	897	再 生 鉛 1 号	300	290	300	295		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	305	301	305	301		
新 切 黄 銅 セ バ	812	808	錫 1 号	3500	3450	3500	3450		
コ ー ペ ル	779	766	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900		
黄 銅 棒 地	763	754	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3150	3100	3150	3100		
黄 銅 削 粉	757	750	コ バ ル ト	8200	7900	8200	7900		
並 黄 銅	619	639	セ レ ニ ウ ム	2900	2700	2900	2700		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	583	567	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	567	597	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄 銅 鑄 物	621	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480		
山 送 り (55%)	355	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◎ 374	◎ 370	◎ 376	◎ 372		
上 青 銅 鑄 物	793	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	305	300	305	300		
並 青 銅 鑄 物	791	777	〃 90 %	263	258	263	258		
上 青 銅 鑄 物 削 粉	786	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	417	412	420	415		
並 青 銅 鑄 物 削 粉	776	765	鑄 物 用 C2BS	442	437	444	439		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1022	青 銅 合 金 地 金 3 種	1555	1545	1630	1620		
〃 (鑄 物)	910	—	〃 6 種	1245	1235	1310	1300		
リ ン 青 銅 削 粉	828	816	ハ ン ダ 錫 60 %	3030	2990	3050	3020		
新 切 洋 白 (電 子 材)	834	817	〃 50 %	2620	2570	2640	2610		
新 切 亜 鉛	◆ 268	◆ 268	〃 40 %	2270	2210	2225	2195		
ダ イ カ ス ト く ず	◆ 233	◆ 233	減 摩 合 金 2 種	4430	4400	4435	4405		
亜 鉛 ド ロ ス	◆ 211	◆ 222	〃 4 種	3775	3750	3780	3750		
上 鉛	147	145	〃 7 種	1310	1260	1310	1260		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8 ス テ ン レ ス 新 切		75	75		
活 字 鉛	132	129		〃 ダ ラ イ 粉		60	60		
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		260	260		
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		465	465		
新 切 合 金 1 級	222	217		13 ク ロ ー ム 新 切		17	24		
機 械 鑄 物 1 級	150	155		ハ イ ス 9 種		220	220		
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170							
合 金 削 粉 P	95	100							
込 ガ ラ P	90	92							
カ ン ・ バ ラ	160	161							



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2208